

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5695 URL <http://www.powder-tech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 祐二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 倉持 正一 (TEL) 04-7145-5751
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	8,282	1.2	1,142	△17.6	1,145	△16.8	762	△16.6
30年3月期第3四半期	8,185	5.2	1,386	2.9	1,377	0.2	913	△1.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 755百万円(△16.9%) 30年3月期第3四半期 909百万円(0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	257.13	—
30年3月期第3四半期	308.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,908	10,926	78.6
30年3月期	14,228	10,452	73.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 10,926百万円 30年3月期 10,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,800	△1.3	1,520	△16.3	1,520	△15.3	1,060	△15.8
								357.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	2,970,000株	30年3月期	2,970,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	6,558株	30年3月期	6,498株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,963,490株	30年3月期3Q	2,963,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では企業部門、個人消費ともに堅調に推移しており、欧州では個人消費を中心に内需は底堅く推移しましたが、輸出の減少など景気減速の兆しが見られました。また、新興国では中国において、米中貿易摩擦の影響を受け景気減速が顕在化し始めました。日本国内では堅調な企業業績により設備投資が増加し、個人消費も良好な雇用環境を背景に緩やかな回復傾向で推移しました。

このような経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場は、カラー機を中心に底堅く推移いたしました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、消費者の安全・安心志向に変わりはなく堅調に推移いたしました。鉄粉につきましては、主要用途であるカイロ向けは前年同期を上回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第3四半期の売上高は前年同期比1.2%増加し8,282百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の減益により、営業利益は1,142百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益は1,145百万円（前年同期比16.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は762百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、第2四半期まではお客様における在庫調整などがありましたが、第3四半期は増販となり、売上高は6,444百万円（前年同期比0.7%増）となりました。セグメント利益は、主に原材料・エネルギー価格の上昇と新規事業を含む研究開発費の増加により1,369百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品、鉄粉関連製品とも増販となり、売上高は1,838百万円（前年同期比3.1%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格・人件費等の増加を増販とコストダウンではカバーできず130百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金は増加しましたが、預け金の減少により、117百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却発生金額が設備投資金額を上回ったことなどにより、202百万円減少いたしました。以上により、総資産は320百万円減少し13,908百万円となりました。

負債は、主に未払金と未払法人税等が減少しましたので、794百万円減少し2,981百万円となりました。借入金 は前連結会計年度末より50百万円減の150百万円となっております。

純資産は、474百万円増加し10,926百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.1%増加し78.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月5日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	331,872	344,066
受取手形及び売掛金	1,432,546	2,036,497
商品及び製品	1,025,021	1,113,233
仕掛品	898,061	820,030
原材料及び貯蔵品	412,708	476,247
預け金	3,306,230	2,505,197
その他	31,599	24,879
貸倒引当金	△943	△904
流動資産合計	7,437,096	7,319,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,759,420	4,755,147
減価償却累計額	△2,786,130	△2,854,442
建物及び構築物(純額)	1,973,289	1,900,705
機械装置及び運搬具	9,584,279	10,261,087
減価償却累計額	△7,439,151	△7,932,287
機械装置及び運搬具(純額)	2,145,128	2,328,800
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	141,190	47,681
減価償却累計額	△127,026	△43,012
リース資産(純額)	14,163	4,668
建設仮勘定	370,575	47,787
その他	550,004	571,638
減価償却累計額	△483,955	△498,606
その他(純額)	66,049	73,031
有形固定資産合計	6,429,405	6,215,192
無形固定資産		
その他	22,202	39,057
無形固定資産合計	22,202	39,057
投資その他の資産		
投資有価証券	16,662	14,827
繰延税金資産	281,514	278,653
その他	47,131	46,297
貸倒引当金	△5,199	△5,199
投資その他の資産合計	340,108	334,578
固定資産合計	6,791,716	6,588,827
資産合計	14,228,812	13,908,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,007,182	1,094,306
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	2,578	1,029
未払金	1,280,663	606,630
未払法人税等	237,396	120,104
未払事業所税	20,663	15,449
未払消費税等	57,059	91,053
賞与引当金	215,541	148,074
その他	247,650	252,830
流動負債合計	3,168,735	2,429,479
固定負債		
長期借入金	100,000	50,000
リース債務	11,357	3,411
長期末払金	12,061	10,257
環境対策引当金	4,537	4,537
退職給付に係る負債	480,036	483,052
その他	-	1,000
固定負債合計	607,992	552,259
負債合計	3,776,728	2,981,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	7,333,596	7,814,075
自己株式	△10,982	△11,156
株主資本合計	10,445,614	10,925,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	93
為替換算調整勘定	5,831	324
その他の包括利益累計額合計	6,470	417
純資産合計	10,452,084	10,926,336
負債純資産合計	14,228,812	13,908,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	8,185,307	8,282,957
売上原価	5,713,481	5,909,252
売上総利益	2,471,826	2,373,705
販売費及び一般管理費	1,085,736	1,231,187
営業利益	1,386,090	1,142,518
営業外収益		
受取利息	8,932	9,684
為替差益	-	6,613
その他	7,101	6,099
営業外収益合計	16,033	22,398
営業外費用		
支払利息	873	585
為替差損	1,228	-
債権売却損	21,495	17,263
その他	1,523	1,580
営業外費用合計	25,121	19,429
経常利益	1,377,002	1,145,486
特別利益		
固定資産売却益	459	-
特別利益合計	459	-
特別損失		
固定資産処分損	43,291	36,334
固定資産売却損	-	3,170
投資有価証券評価損	-	1,049
特別損失合計	43,291	40,554
税金等調整前四半期純利益	1,334,171	1,104,932
法人税等	420,804	342,921
四半期純利益	913,366	762,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	913,366	762,011

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	913,366	762,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	△545
為替換算調整勘定	△4,267	△5,507
その他の包括利益合計	△4,030	△6,052
四半期包括利益	909,336	755,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	909,336	755,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,402,403	1,782,904	8,185,307	—	8,185,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,402,403	1,782,904	8,185,307	—	8,185,307
セグメント利益	1,564,138	147,195	1,711,333	△325,242	1,386,090

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△325,242千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△325,162千円及び棚卸資産の調整額△80千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,444,690	1,838,266	8,282,957	—	8,282,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,444,690	1,838,266	8,282,957	—	8,282,957
セグメント利益	1,369,788	130,777	1,500,565	△358,047	1,142,518

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△358,047千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△358,188千円及び棚卸資産の調整額141千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。